

い わ た さ 民 報

廢艦の沈設により小名瀬港三千トン岸壁から南へ突出する防波堤は二十五日午前十一時から潛風に次ぐ廢艦第二船（延長百米巾九米）の沈設によつて着工された、この日午度静かな海面に憑まれ工事は順調に進み午後一時豫定通りの位置に沈設が出来た、なお第三の廢艦（延長百米）もこれに引續き到着し今度の沈設した個所へ續いて延長する調査したがこれは都台で中止となつたため廢艦の沈設工事はこれまで打切ることに確定したので三千トン岸壁から突出する第三船の分を追つてケーリングをえがき

(コンクリートで断面型に作つた沈没用の基礎工事材)による延長工事をすることになった。湯本町では二十七日午後一時より役場会議室に財務及び消防課、防衛委員會を開いて湯本自治監督會を始め四十一点の消費料金を算定し、自動車一台購入、新制中学校建設費等を含む總額三千七百九十一円マイスリーブで、新規資本金等を含む總額五千万円に達する追加貯蓄算定を終えた。

辯論大會の東部豫選
十一日に舉行内定
旗勞東部文部青年部幹事會
二十三日第五回會館に開き、
國議論大會東部豫選につき

の新築決 工式、竣工は九月末		協 全 は
仔細羊	石城童謡協同 セリ市	組合では左の 計畫でいる
日本の大學生は教育の面に於て學校教育と、教育基本法の新制定となつてゐる。四月の民主化された新した教育の中心となつて教育行政を握る當の教育委員會なのである。即ち理想的な新教育制度が實施されたとしても教育行政が文部省一本によつて指導される場合に於ては過去の教育と同じ運命をたどることは明かなのである。	三間裏行四間半階上は會議室 下は事務室とし、このほか留置場も新築するが労力は警防員の奉仕作業で當ることになり九月三十日竣工豫定で ある	日本の民主化は教育の面に於て學校教育と、教育基本法の新制定となつてゐる。四月の民主化された新した教育の中 心となつて教育行政を握る當の教育委員會なのである。即ち理想的な新教育制度が實施されたとしても教育行政が文部省一本によつて指導され る場合に於ては過去の教育と同じ運命をたどることは明かなのである。

時から常陽銀行平文店蔵庫で、平成元年四月二十日午後三時半不思議にて、三十戸の申請が提出され、管内体育連盟結成會を開催され、幹事委員を選任し規約を作成し、発足した。現在の参加申請は三十戸であるが今後増加する見込、なお連盟は仙台の商工局が主となり、石油等の地下資源業者、亞炭、石炭等で構成される。組織をつくりてあるが石油が新規として加入して、炭鑛係統がコットされていてたので結果のもの。

二十
年九月六日酒井
公判決

六、も同様トマトの
スのヤミで罰金四千
袋生東果物商馬鹿に使
する等

大角力を楽しく御覧
なれるように、
お酒を自由販
致し
一升賣り
二合ビン入りも
白菊酒庄

江名一片廻り 濱名小名瀬を結ぶ磐南鐵道では先に同鐵道の完成までの事業としてドレーラーバスにより運営に乗出すべく同路線の認可申請中だったが、不可になつたので今度は同會社が主体となり臨港鐵道、地元有志、東京の自動車關係會社の出資により新バス會社を創設することになり近く同會社の名によつて平一江名簡小名瀬間を結ぶ片濱路線の認可申請をすることになつた新會社

會社創設 鉄道完成まで五百萬圓トレー
ト社は資本金五百万円でトレー
ラーベス六台（豫定）を以つて運營しようとするものだが
この爲現在の同片鐵道は大
船を沈設 來月中に
一方輪南鐵道の建設状況は來
月一杯までに鐵道布設に必要な諸準備が完畢する見込な
どこれが完成次第直ちに起工
式を舉げる方針で進んでいる
また地元江名町では去る二十

の癡狂、論題は「健をなる組合運動について」と「増税の叫び」の一題で各題に付き十分以内、希望者は來月五日まで文部省青年部宛論題、氏名、職名、坂銘などを記述通知すること、なお合格成績は優一名良四名で優六百円、良三百円の賞金が得られ、全國大會出場者は優一名で審査員は目下未定、福利協會平支部が後援となつてゐる。

谷武雄氏に對し感謝状を
任した。なほ上にてこと
民生委員を辭任した三十
ことにし、また第一回母
入所者も決めた。

◎會長井上貞治郎(副
石山信雄、同鈴木寛二
任理軍山野邊達卓(理
辰次郎、石山信雄、井
治郎、佐藤伊太郎、鈴
一桑原ナカ、山野邊達卓
成寺波透久、田久重吾吉
成キモ、川充宏、神谷正
書記佐川充宏、本益

し子、四軒町體谷敏
伊藤トヨ、同佐々木
鴨宣町栗原ケサヨ、
ロチヨ、中町大谷リ
丁目大門セイ、月見
節子、上平窟脇谷久云
五丁目吉田貞

スイ、鍛田
八日半支部で開廷に參
大町野
ヨリ四
町大竹
子、十
一齋臨檢　濱と炭鑄を

ス。各種管鉛
ダ類水他道

いわき民報

電三八一
千輝克
を除く
一月四十円
一部一円五十銭

醫藥用化學用
其他硝子製品一式

市民生委員会開き、公會堂で午後一時より

上氏を推す

に引継いで残りの攻守
五世帯は同寮の完成す
ころに入所者を決定す
白銀鹿取恵子、新町
エヌ、同野崎ラク、『
上遠

放浪の露父源語(五)
月未に手を出すと想ひ口
これを殺害した揚句専
めて、カムチャツカ方
太田シロ漁業のサケ漁に出か
向八代世間を偽つていたが

論の末
山に埋
面の日
けたと
風評り
小外内
児
レントゲン
斜科病

金成平市鍛田町電八
醫 諸 簿

